

施策	5201 生涯学習環境の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	生涯学習の拠点となる施設の整備充実及び、地域住民の相互学習による利用の促進を図る。						
成果指標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)						
目 標 達 成 状 況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [回]	予定	2,000.00	4,500.00	4,600.00	4,700.00	4,800.00
		実績	4,344.00	7,851.00	8,526.00	8,322.00	
	成果指標2 [人]	予定	702,000.00	718,000.00	735,000.00	753,000.00	787,000.00
		実績	709,353.00	739,408.00	812,465.00	782,875.00	
		単位コスト	0.51	0.49	0.45	0.48	
	成果指標3 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標4 []	予定					
実績							
単位コスト							
トータルコスト (千円)	予定	388,041	357,787	412,753	337,745		
	実績	362,045	364,934	362,568	375,842		
内 部 評 価	貢献度	上位施策の目標指標「社会施設利用者満足度」を向上させるためには、社会施設への関心や利用者数の向上が必要であるため、本単位施策の目標値達成度による貢献度は高い。					
	達成状況	アシストネット事業ボランティア回数、社会教育施設利用者数ともに目標値を上回ることができた。					
	課題	アシストネット事業の認知度が未だに低い傾向にある。また、施設の中には老朽化に伴う機能の低下や設備の不具合がみられることから、計画的な修繕が必要である。					
	取組方針	アシストネット事業についてFMくらは等を活用しPR活動を推進する。また、計画的・効率的な維持管理を行い、地域の特色ある社会教育施設として施設利用環境の向上を図る。					
外 部 評 価	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数、及び社会教育施設利用者数の実績は目標を大きく上回っており評価に値する。特にとちぎ未来アシストネット事業については、その取組みが注目を集めるなど、市として誇るべき事業であると感じており、引き続き地域との連携を深めながら取組んで頂きたい。 ただし、目標値の設定は検討の余地があり、次期計画ではさらに高い目標を設定し取組みを進められたい。 また、社会教育施設利用者数の実績は順調に推移してきたが、ここきて減少する傾向が見られており、この推移の要因を分析のうえ必要に応じ対策を講じられたい。 社会教育施設の老朽化が散見されており、公共施設再配置計画に則り計画的な修繕を図られたい。						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	562401	社会教育関係団体補助金(栃木)				515	100
	562402	社会教育関係団体補助金(大平)				2,486	100
	562403	社会教育関係団体補助金(藤岡)				1,257	100
	562404	社会教育関係団体補助金(都賀)				930	100
	562406	社会教育関係団体補助金(岩舟)				860	100
	563101	栃木公民館管理運営費				29,605	100
	563102	大平公民館管理運営費				27,842	100
	563106	岩舟公民館管理運営費				21,438	100
	563501	吹上公民館管理運営費				35,998	100
563601	寺尾公民館管理運営費				21,223	100	

平成28年度

単位 施策評価表 補表

<p>施策</p>	<p>5201 生涯学習環境の充実</p>		
<p>区分</p>	<p>妥当性</p>	<p>妥当</p>	<p>社会教育法第5条に位置付けられている事務のため、市で行うことは妥当である。</p>
	<p>コスト削減の余地</p>	<p>無</p>	<p>本施策においては、社会教育施設の維持管理費が多くを占めているため、コスト削減は難しい。</p>
	<p>受益者負担</p>	<p>適正</p>	<p>使用料等の見直しについては、財政課主導の下、適宜行っていることから適正である。</p>
	<p>上位貢献度</p>	<p>有効</p>	<p>個々の事務事業の推進による貢献度が高いことから、単位施策貢献度が高いと判断した。</p>
	<p>類似事業の有無</p>	<p>無</p>	
	<p>成果向上の余地</p>	<p>有</p>	<p>施設利用者数が前年度より伸びていることから、まだ成果向上の余地があると判断した。</p>
<p>内部評価</p>	<p>貢献度</p>	<p>上位施策の目標指標「社会教育施設利用者満足度」を向上させるためには、社会教育施設への関心や利用者向上のための個々の事務事業の推進は貢献度が高いと判断した。</p>	
	<p>達成状況</p>	<p>とちぎ未来アシストネット事業については、平成27年度皆川地域アシストネット推進本部が優れた「地域による学校支援活動」として、平成28年度においては都賀地域アシストネット推進本部が「地域学校協働活動」推進において文部科学大臣表彰を受賞するなど、本市のこの取組が評価されている。なお、事業の推進においては、ボランティア活動の回数は前年度より減少はしているものの活動延べ人数は伸びている。アシストネット事業の啓発関係は、FMくららを活用し、教育委員会の職員が啓発活動を行ったほか、地域コーディネーターの代表の方が出演し、日頃の活動内容や文部科学大臣表彰を受賞したことなどを発表された。その他、地域コーディネーターとPTAとの繋がりや他の地域のコーディネーターとの繋がりを深めるため、ボランティア交流会を開催し、約180名の参加があった。 また、社会教育施設(公民館・集会所・コミュニティーセンター・図書館)の利用者数については、前年度実績値より下回っているものの目標値を上回っていることから、施設の利用環境改善及び講座等の充実が図られているものと考えている。</p>	
	<p>課題</p>	<p>とちぎ未来アシストネット事業については、事業名称としての認知度が、ボランティア活動をしている当事者にとっても、未だ低い状況にあるため、引き続き啓発活動を行う必要がある。 また、社会教育施設については、昭和50年代に建設された施設があるため、老朽化に伴う不具合などが発生しているため、適宜修繕をしている状況にある。引き続き計画的な修繕が必要である。</p>	
	<p>取組方針</p>	<p>とちぎ未来アシストネット事業については、効果的に周知するため、「コミュニティFMくらら」を活用したPRを実施したり、市の広報誌や学校だよりなどを活用したりしながら、事業の啓発活動を推進していく。 また、社会教育施設については、老朽施設のメンテナンスを適切に行いながら、ソフト事業の充実にも努め、利用者数の増加に結びつけていきたい。</p>	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	562501	事業区分	03	管理的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	コミュニティ施設管理費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 生涯学習課 生涯学習係						担当者	斉藤千明				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等					事業期間	H18 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	14,080	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 旧栃木市内のコミュニティ施設(第三地区、第四地区、第五地区、第六地区、栃木第一小学校集会室)及び藤岡城山コミュニティセンターの管理及び維持補修を行う。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) コミュニティ施設を運営するうえで必要な光熱水費・燃料費が適正に支出されていること。 年々老朽化する施設が維持補修でき、市民が快適に使用することができること。							
	成 施 策 目 標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)													

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	平成27年度			平成28年度						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業内容】施設の管理及び維持補修を行った。			【事業内容】施設の管理及び維持補修を行った。					
	県支出金	0	0	【成果】第三地区(ブラインド修繕工事、和室エアコン修繕工事)、第四地区(トイレ内装改修工事、湯沸室窓修繕工事、排水管修繕工事、トイレ配管改修工事、トイレ詰り修理工事、天井改修工事)、第五地区(和室畳替え工事、男子トイレ便器取替工事)、第六地区(男女トイレ照明用リモコンリレー修繕工事、大会議室収納扉修繕工事、空調機修繕工事)を行い、施設環境を整えた。			【成果】第三地区(ブラインド修繕工事、洗面水洗修繕工事)、第四地区(空調設備改修工事(移設)、トイレ修理工事、間仕切りボード撤去工事、玄関改修工事、案内看板改修工事、照明取付工事)、第五地区(ベビシート取外し再取付工事、ウォッシュレット取付工事、畳替工事)、第六地区(給湯器修繕工事、ガス漏れ感知警報器取付工事)等を行い、施設環境を整えた。					
	地方債	0	0	事業の内容 その成果			事業の事後評価					
	その他特財	419	412									
	一般財源	5,656	10,853									
	事業費 a	6,075	11,265									
	人件費 b	3,750	4,500									
減価償却費 c	0	0										
総事業費 a+b+c	9,825	15,765	指標名	算出方法	単位	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 1	93,365.00	87,598.00	利用人数	コミュニティ施設(五箇所)の年間延べ利用人数 H28目標値：90,000人	人	妥当	無	適正	有効	無	有	
結果指標 2	4,812.00	4,552.00	利用団体数	コミュニティ施設(五箇所)の年間延べ利用団体数 H28目標値：5,000団体	団体							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 利用者の利便性及び安全確保に配慮した施設の維持管理を行う。										
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考											
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563101	事業区分	03	管理的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	栃木公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実		生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 栃木公民館係						担当者	大橋幸子				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則				事業期間	H18 ~ H30 年度			全体事業費 (人件費除)	102,935 千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館施設の適切な管理運営を行う。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・生涯学習の増進と共に公民館の利用を増加させる。 ・各種団体の自主的な運営を推進する。 1101								
							成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)								

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	事業の内容				事業の事後評価					
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成27年度 【事業の内容】 栃木公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用件数 1,916件 ・利用者数 29,904件			平成28年度			事業の事後評価 妥当性 妥当 コスト削減の余地 無 受益者負担 適正 上位貢献度 有効 類似事業の有無 無 成果上の余地 有		
	県支出金	0	0				【事業の内容】					
	地方債	0	0				栃木公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。					
	その他特財	1,021	1,235				【成果】					
	一般財源	11,422	13,370				・利用件数 2,027件					
	事業費 a	12,443	14,605				・利用者数 30,947件					
	人件費 b	15,000	15,000				・主な支出					
減価償却費 c	0	0	社会教育指導員報酬(1名)、暖房用燃料、電気料、施設維持管理業務委託料、維持補修費等。									
総事業費 a+b+c	27,443	29,605	指標名	算出方法	単位							
結果指標 1	1,916.00	2,027.00	利用件数	年間利用件数 H28目標値 1,400件	件							
結果指標 2	29,904.00	30,947.00	利用者数	年間利用者数 H28目標値 31,000人	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)					
	・公民館業務について、内容の充実と周知に努め、公民館の利用を増加させる。 ・各種団体の自主運営意識の強化を図る。					

事後評価備考						
--------	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563102	事業区分	03	管理的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策			単位施策			
事業名	大平公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実			生涯学習環境の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 大平公民館係						担当者	渡辺由夫				従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等									事業期間	H18 ~ H33 年度			全体事業費 (人件費除)	260,000 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 公民館管理業務 公民館貸出事務 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 公民館の管理及び貸館業務の充実						
	単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込		成果 施策 目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)												
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 その成果	平成27年度					平成28年度							
	県支出金		0	0		【事業の内容】 大平公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用者数 34,701人 ・利用件数 2,192件	【事業の内容】 大平地域の公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用者数：37,802人 ・利用件数：2,619件											
	地方債		0	0														
	その他特財		1,969	1,660														
	一般財源		19,535	18,682														
	事業費 a		21,504	20,342														
	人件費 b		7,500	7,500														
減価償却費 c		0	0															
総事業費 a + b + c		29,004	27,842	指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地			
結果指標 1		34,701.00	37,802.00	利用者数	人数 H28目標値：36,000人			人		妥当	有	適正	有効	無	無			
結果指標 2		2,192.00	2,619.00	利用件数	件数 H28目標値：2,500件			件										
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 地域に根ざした公民館を目標に公民館の施設の管理と貸館業務の推進に努める。																	
事後評価備考																		

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563106	事業区分	03	管理的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	岩舟公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 岩舟公民館係						担当者	早乙女 透		従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則				事業期間	H26 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	45,045	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館管理業務 ・公民館貸出業務 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・公民館の管理及び貸館業務の充実							
	単位：千円、人						成果 施策目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)							

事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 その成果	平成27年度			平成28年度					
	県支出金		0	0		【事業内容】 ・公民館の管理業務 ・公民館の貸出業務 【成果】 ・利用件数 1,380件 ・利用者数 17,119人	【事業内容】 ・公民館の管理業務 ・公民館の貸出業務 【成果】 ・利用のしやすい公民館となるよう、適切な施設管理を行った。 ・公民館条例に基づき、適切な貸出業務を行った。 ・利用件数 1,409件 ・利用者数 16,663人							
	地方債		0	0										
	その他特財		779	1,043										
	一般財源		6,445	7,645										
	事業費 a		7,224	8,688										
	人件費 b		12,750	12,750										
減価償却費 c		0	0											
総事業費 a+b+c		19,974	21,438	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 1		1,380.00	1,409.00	利用件数	年間利用件数 1,400	件		妥当	無	適正	有効	無	無	
結果指標 2		17,119.00	16,663.00	利用者数	年間利用者数 16,000	人								

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・地域に根ざした公民館を目標に公民館の管理と貸館業務の推進に努めた。												

事後評価備考													
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563301	事業区分	03	管理的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	大宮公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 大宮公民館係						担当者	小島佳栄				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則				事業期間	H25 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	125,272	千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館施設の適切な管理運営を行う。 ・住民票交付等出張所業務を行う ・各種団体へ貸館事業を行う。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・生涯学習の増進と大宮地区の活性化。 ・各種団体の自主的な運営を推進する。								
	単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	達成目標						とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)						
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容						事業の内容					
	県支出金		0	0	【事業の内容】 大宮公民館施設を管理運営し、団体・サークル等への貸館事業を行う。 【その成果】 各種団体、サークル等の自主的活動の場を提供することにより生涯学習を推進した。 ・利用件数 1,524件 ・利用者数 21,985人						【事業の内容】 大宮公民館施設を管理運営し、団体・サークル等への貸館事業を行う。 【その成果】 各種団体、サークル等の自主的活動の場を提供することにより生涯学習を推進した。 ・利用件数 1,627件 ・利用者数 24,172人					
	地方債		0	0	平成27年度						平成28年度					
	その他特財		769	821	【事業の内容】						【事業の内容】					
	一般財源		8,319	10,310	【その成果】						【その成果】					
	事業費 a		9,088	11,131	各種団体、サークル等の自主的活動の場を提供することにより生涯学習を推進した。						各種団体、サークル等の自主的活動の場を提供することにより生涯学習を推進した。					
	人件費 b		15,000	15,000	・利用件数 1,524件						・利用件数 1,627件					
減価償却費 c		0	0	・利用者数 21,985人						・利用者数 24,172人						
総事業費 a+b+c		24,088	26,131	指標名	算出方法				単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1		1,524.00	1,627.00	利用件数	年間利用件数 H28目標値 1,600件				件	妥当	無	適正	有効	無	有	
結果指標 2		21,985.00	24,172.00	利用者数	年間利用者数 H28目標値 25,000人				人	妥当	無	適正	有効	無	有	
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・出張所業務、公民館業務について、内容の充実と周知に努め、地域住民の満足度を高める。 ・各種団体の自主運営意識の強化を図る。															
事後評価備考																

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563401	事業区分	03	管理的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策										
事業名	皆川公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実		生涯学習環境の充実									
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 皆川公民館係						担当者	高田佐智代				従												
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則				事業期間	H18 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	95,992		千円										
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館施設の適切な管理運営を行う。 ・住民票交付等出張所業務を行う。 ・各種団体の支援を行う。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・生涯学習の推進と共に、公民館の利用を増加させる。 ・各種団体の自主的な運営を推進する。																
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)																						
単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込		事業の内容 その成果 皆川公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 <内容> ・利用件数 646件 ・利用者数 13,778人 ・主な支出 臨時業務員賃金(1名)、電気料、施設維持管理委託料						平成28年度 皆川公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 <内容> ・利用件数 588件 ・利用者数 10,220人 ・主な支出 臨時業務員賃金(1名)、電気料、施設維持管理委託料														
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0													県支出金	0	0	地方債	0	0	その他特財	424	406
総事業費 a+b+c	21,388	21,163		指標名	算出方法			単位	事業の事後評価 妥当性 コスト削減の余地 受益者負担 上位貢献度 類似事業の有無 成果向上の余地 妥当 無 適正 有効 無 有															
結果指標 1	646.00	588.00		利用件数	年間利用件数 H28目標値600件			件																
結果指標 2	13,778.00	10,220.00		利用者数	年間利用者数 H28目標値16000人			人																
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・公民館業務や地区行事などを公民館だよりへ掲載・館内に掲示することで、地域住民への広報活動を充実させる。 ・各種団体の自主運営意識の強化を図る。																							
事後評価備考																								

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563501	事業区分	03	管理的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	吹上公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実			
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 吹上公民館係						担当者	指出孝則				従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則								事業期間	H18 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	89,438	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館施設の適切な管理運営を行う ・住民票交付等出張所業務を行う。 ・各種団体の支援を行う。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・生涯学習の推進とともに、公民館の利用を増加させる。 ・各種団体の自主的な運営を推進する。 ・地域課題の解決を支援する。					
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)															

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込														
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	平成27年度						平成28年度					
	県支出金	0	0		吹上公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。						吹上公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。					
	地方債	0	0		内容 ・利用件数 950件 ・利用者数 20,084人						内容 ・利用件数 975件 ・利用者数 19,019人					
	その他特財	344	474		臨時業務員賃金(半日)、公用車燃料、電気料、施設維持管理業務委託料、公民館敷地借上料						臨時業務員賃金(半日)、公用車燃料、電気料、施設維持管理業務委託料、公民館敷地借上料					
	一般財源	6,810	5,524													
	事業費 a	7,154	5,998													
	人件費 b	22,500	30,000													
減価償却費 c	0	0														
総事業費 a+b+c	29,654	35,998	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地			
結果指標 1	950.00	975.00	利用件数	年間利用件数 H28目標値 900件		件	妥当	無	適正	有効	無	有				
結果指標 2	20,084.00	19,019.00	利用者数	年間利用者数 H28目標値 15,000人		人										

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)														
	・公民館業務、出張所業務については、公民館だより等で地域住民に広報し利用拡大を図る ・各種団体の自主運営意識の強化を図る														

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563601	事業区分	03	管理的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	寺尾公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 寺尾公民館係						担当者	江面 奈々			従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例・施行規則				事業期間	H18 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	113,962	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館施設の適正な管理運営を行う。 ・住民票交付等支所業務を行う。 ・各種団体の支援をする。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・生涯学習の推進と共に、公民館の利用を増加させる。 ・各種団体の自主的な運営を推進する。 生涯学習環境の充実							
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)													

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	事業の内容		その成果							
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成27年度		平成28年度						
	県支出金	0	0	寺尾公民館施設の管理運営を行い、団体・サークル等の利用の促進により生涯学習を推進する。		寺尾公民館施設の管理運営を行い、団体・サークル等の利用の促進により生涯学習を推進する。						
	地方債	0	0	<内容> ・利用件数 406件 ・利用者数 9,834人 ・主な支出 臨時業務員賃金(1名)、電気料、施設維持管理委託料		<内容> ・利用件数 377件 ・利用者数) 9,525人 ・主な支出 臨時業務員賃金(1名)、電気料、施設維持管理委託料						
	その他特財	85	115									
	一般財源	5,690	6,108									
	事業費 a	5,775	6,223									
	人件費 b	15,000	15,000									
減価償却費 c	0	0										
総事業費 a+b+c	20,775	21,223	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	406.00	377.00	利用件数	25件×12月=300件 H28目標値 300件	件		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2	9,834.00	9,525.00	利用者数	30人×300件=9,000人 H28目標値 9,000人	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)					
	・支所業務、公民館業務について、内容の充実と周知に努め、地域住民の満足度を高める。 ・各種団体と協働で、より良い公民館活動ができるよう努める。					

事後評価備考	
--------	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	563701	事業区分	03	管理的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	国府公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 国府公民館係						担当者	大塚歩				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則				事業期間	H18 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	64,970	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どうする方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・公民館施設の適切な管理運営を行う。 ・住民票交付等支所業務を行う。 ・各種団体の支援をする。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・生涯学習の推進と共に、公民館の利用を増加させる。 ・各種団体の自主的な運営を推進する。 ・地域課題の解決を支援する。							
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)													

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	平成27年度			平成28年度						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業の内容】 国府公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用件数 1,498件 ・利用者数 36,953人			【事業の内容】 国府公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 ・利用件数 1,025件 ・利用者数 21,651人					
	県支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他特財	634	752									
	一般財源	6,007	6,365									
	事業費 a	6,641	7,117									
	人件費 b	30,000	30,000									
減価償却費 c	0	0										
総事業費 a+b+c	36,641	37,117	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	1,498.00	1,025.00	利用件数	年間利用件数 H28目標値1,500件	件		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2	36,953.00	21,651.00	利用者数	年間利用者数 H28目標値37,000人	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・支所業務、公民館業務については、公民館だよりで地域住民に広報し、利用拡大を図る。 ・各種団体の自主運営意識の強化を図る。					

事後評価備考						
--------	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	564303	事業区分	03	管理的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策					
事業名	藤岡公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実					
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 藤岡公民館係						担当者	佐山厚子				従							
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則								事業期間	H18 ~ H32 年度		全体事業費 (人件費除)	387,205	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どうする方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・藤岡公民館及び各地区公民館管理業務 ・藤岡公民館及び各地区公民館貸出事務 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・生涯学習の推進と共に、公民館の利用促進を図る。 ・利用者の安全を第一に、安心して気持ちよく利用していただけるよう管理整備する。							
	単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込											成果 施策目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)				

事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0	事業の内容 その成果	平成27年度			平成28年度			事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
	県支出金		0	0		【事業内容】 ・藤岡公民館及び地区公民館の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 利用件数 2,511件 利用者数 44,958人	【事業内容】 ・藤岡公民館及び地区公民館の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。 【成果】 利用件数 2,434件 利用者数 27,423人												
	地方債		0	0															
	その他特財		842	2,912															
	一般財源		25,094	22,787															
	事業費 a		25,936	25,699															
	人件費 b		8,025	8,025															
減価償却費 c		0	0																
総事業費 a+b+c		33,961	33,724	指標名	算出方法	単位													
結果指標 1		2,511.00	2,434.00	利用件数	年間利用件数 H28目標値：2,500	件													
結果指標 2		44,958.00	27,423.00	利用者数	年間利用者数 H28目標値：40,000	人	妥当	有	適正	有効	無	有							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・地域住民の活動の充実が図れるよう施設の維持管理と貸館業務の推進に努めた。 ・建物の老朽化により、修繕箇所が増えてきている。修繕費の増大が今後の課題である。																	

事後評価備考																		
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	564305	事業区分	03	管理的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	西方公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実		生涯学習環境の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 西方公民館係						担当者	大森 晴美			従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市公民館条例、栃木市公民館施行規則								事業期間	H23 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	41,292 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 昭和49年に設立され、旧西方町の中央公民館として生涯学習の中心的役割を担う施設であり、市民の生涯学習事業・社会教育事業・公民館業務・各種団体の育成等の活動環境を維持するため、施設の管理運営を行う。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・生涯学習の推進とともに、公民館の利用促進をはかる。 ・各種団体の自主的な活動を支援する。 ・老朽化した施設を管理する。					
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)															

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	平成27年度				平成28年度							
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業の内容】 西方公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進した。				【事業の内容】 西方公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進した。						
	県支出金	0	0	【成果】 ・利用件数 566件 ・利用人数 7,911人				【成果】 ・利用件数 536件 ・利用人数 6,709人						
	地方債	0	0	事業の内容 その成果										
	その他特財	150	188											
	一般財源	4,427	2,495											
	事業費 a	4,577	2,683											
	人件費 b	4,500	4,500											
減価償却費 c		0												
総事業費 a+b+c	9,077	7,183	指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	566.00	536.00	利用件数	年間利用件数 H28目標値 500件			件		妥当	無	適正	有効	有	有
結果指標 2	7,911.00	6,709.00	利用者数	年間利用者数 H28目標値 8000人			人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・利用者が快適に施設を利用できるよう、計画的な改修を予定し計画どおり改修を実施することができた(主にホールの照明)。 ・今後は、私有施設点検に基づく修繕を実施していき、公民館事業や生涯学習に繋がる事業を充実させ、公民館利用者の増加に繋げて行きたい。					

事後評価備考						
--------	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100402	予算事業コード	565004	事業区分	03	管理的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	都賀公民館管理運営費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 都賀公民館係						担当者	大塚崇行				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	社会教育法、栃木市公民館条例、同施行規則				事業期間	H18 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	155,292	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 施設の管理運営を行い、学習・文化活動の場を提供する 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 生涯学習の増進と共に公民館の利用を増加させる。							
							成果 施策目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)							

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	事業の内容 その成果				事業の事後評価						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成27年度		平成28年度							
	県支出金	0	0	【事業の内容】		【事業の内容】							
	地方債	0	0	都賀公民館施設の管理運営及び団体・サークル等の利用の増加を図り、生涯学習を推進する。		都賀公民館施設の管理運営を行い、団体・サークル等の利用の促進により生涯学習を推進した。							
	その他特財	703	687	【成果】		【成果】							
	一般財源	11,648	9,623	・利用件数 1,281件		・利用件数 1,238件							
	事業費 a	12,351	10,310	・利用者数 22,462人		・利用者数 21,867人							
	人件費 b	2,250	2,250	ボタン電話取替工事 486千円		・主な支出							
減価償却費 c	0	0	公民館外部時計台時計交換工事 302千円		電気料、施設維持管理委託料、公民館敷地借上料、維持管理補修等								
総事業費 a+b+c	14,601	12,560	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	1,281.00	1,238.00	利用件数	年間利用件数	H28目標値：870件	件	妥当	無	適正	有効	無	有	
結果指標 2	22,462.00	21,867.00	利用者数	年間利用者数	H28目標値：19,150人	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 地域に根ざした公民館を目標に公民館の管理と貸館業務の推進に努めた。											
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100403	予算事業コード	567601	事業区分	03	管理的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	図書館システム管理費										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 生涯学習課 社会教育係						担当者	須見 誠		従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等			事業期間	H23 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	161,403		千円			

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 栃木市図書館システムの管理を行う。 【主要事業】					達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・図書館サービスの質の向上を図る。				
						成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)				

単位：千円、人		平成27年度決算額	平成28年度決算見込	事業の内容									
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	平成27年度								
	県支出金	0	0		平成28年度								
	地方債	0	0		【事業の内容】								
	その他特財	0	0		・図書館のシステムのネットワーク化による 利用者に均一なサービスを提供する。								
	一般財源	12,466	15,771		【成果】								
	事業費 a	12,466	15,771		・新システムの導入により、利便性が向上した。								
	人件費 b	3,000	2,625		・図書館システムによる図書館資料登録、利用者データ、 図書の出借・返却、予約リクエスト受入等の管理を行った。								
減価償却費 c	0	0											
総事業費 a+b+c	15,466	18,396		指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	6.00	6.00	システム設置館数	システム設置館数	H28目標値：6館	施設		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2	803,272.00	834,764.00	貸出点数	図書と視聴覚資料の貸出点数	H28目標値：760,000点	点							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)					
	・図書館システムの統合を図ったことで、一枚のカードで市内6館を利用でき、かつ市内の図書館で借りた資料は6館のどこの図書館でも返却できるなどの利便性の向上が図られた。 ・図書館システムを更新したことにより処理能力等、機能が向上した。また、タッチパネル式利用者端末等、すべての図書館に設置し、サービスの均一化が図られた。					

事後評価備考	
--------	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	582301	事業区分	02	行政的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	とちぎ未来アシストネット事業費（栃木）										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 栃木公民館係						担当者	大橋幸子				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等					事業期間	H23 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	5,083	千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・養成するとともに、全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、本市の教育の柱となるとちぎ未来アシストネット事業を推進し、地域の教育力を高める。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 栃木公民館にアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、地域の教育力を高める。								
	成 施 策 目 標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)														
単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込							平成27年度				平成28年度			
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0							事業の内容 その成果 アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校支援ボランティア活動を推進する。 【成果】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 ・学校・地域コーディネーター研修会及びボランティア交流会を開催した。 平成28年度から生涯学習課より事務移管。						
	県支出金	581	281													
	地方債	0	0													
	その他特財	0	0													
	一般財源	300	143													
	事業費 a	881	424													
	人件費 b	5,250	750													
減価償却費 c	0	0														
総事業費 a+b+c	6,131	1,174	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価									
結果指標 1	3,740.00	3,475.00	ボランティア活動回数	年間活動回数 H28目標値 1,800回		回	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地				
結果指標 2	87,795.00	91,951.00	ボランティア数	ボランティア活動延べ人数 H28目標値 12,000人		人	妥当	無	適正	有効	有	有				
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・とちぎ未来アシストネット事業の認知度を高めるため、引き続き広報・啓発に努める。 研修会等を実施し、学校・地域コーディネーターの養成とスキルアップを図ることができた。今後も事業を推進するため、研修会等を実施する。															
事後評価備考																

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	582302	事業区分	02	行政的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	とちぎ未来アシストネット事業費(大平)										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 大平公民館係						担当者	渡辺由夫				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等					事業期間	H21 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	5,000		千円	

事業の概要	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・養成するとともに、全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、本市の教育の柱となるとちぎ未来アシストネット事業を推進し、地域の教育力を高める。</p> <p>【主要事業】</p>						達成目標	<p>(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、地域の教育力を高める。</p>					
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)											

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	平成27年度			平成28年度											
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業の内容】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、地域の教育力を高める。			【事業の内容】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、地域の教育力を高める。										
	県支出金	74	61	【成果】 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 H27実績：実施回数：1,535回 ボランティア動員数：270,159人			【成果】 ・各小中学校において地域ボランティアによるアシストネット事業を推進した。 H28実績 実施回数：1,624回 ボランティア動員数：264,841人										
	地方債	0	0	・学校・地域コーディネーター研修を開催した。			・各種研修会等にコーディネーターが参加した。										
	その他特財	0	0	指標名			算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
	一般財源	37	38	ボランティア活動回数	年間活動回数 H28目標値：1,500回			回	妥当	無		適正	有効	無	有		
	事業費 a	111	99	ボランティア数	ボランティア活動述べ人数 H28目標値：25,000人			人									
	人件費 b	1,500	1,500														
減価償却費 c	0	0															
総事業費 a+b+c	1,611	1,599															
結果指標 1	1,292.00	1,624.00															
結果指標 2	2,332.00	264,841.00															

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)														
	<ul style="list-style-type: none"> ・とちぎ未来アシストネット事業の認知度が低いため、学校や地域に対して、事業の理解・協力を得るため広報啓発に努める必要がある。 ・研修会等を実施し、学校・地域コーディネーターの養成とスキルアップを図ることができた。今後も、事業を推進するため研修会等を実施する必要がある。 														

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	582303	事業区分	02	行政的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	とちぎ未来アシストネット事業費（藤岡）										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 藤岡公民館係						担当者	佐山厚子				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等					事業期間	H23 ~ H32 年度		全体事業費 (人件費除)	1,840		千円	

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・養成するとともに、中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、本市の教育の柱となるとちぎ未来アシストネット事業を推進し、地域の教育力を高める。 【主要事業】					達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、地域の教育力を高める。				
						成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)				

単位：千円、人		平成27年度決算額	平成28年度決算見込			
事業費・指標の推移	国庫支出金		0		0	
	県支出金		105		110	
	地方債		0		0	
	その他特財		0		0	
	一般財源		53		58	
	事業費 a		158		168	
	人件費 b		2,025		2,025	
減価償却費 c		0		0		
総事業費 a+b+c		2,183		2,193		
結果指標 1		709.00		791.00		
結果指標 2		10,529.00		14,257.00		
		指標名	算出方法		単位	
		ボランティア活動回数	年間活動回数 H28目標値：750		回	
		ボランティア数	ボランティア活動延べ人数 H28目標値：4,700		人	
		事業の内容	平成27年度 【事業の内容】 ・藤岡公民館にアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校ボランティア活動を推進する。 【成果】 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 ・学校、地域コーディネーター研修会を開催した。		平成28年度 【事業の内容】 ・藤岡公民館にアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校ボランティア活動を推進する。 【成果】 ・全ての小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 H28実績 実施回数：791回 ボランティア活動人数：14,257人 ・学校、地域コーディネーター研修会を開催	
事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
	妥当	無	適正	有効	無	有

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)					
	・とちぎ未来アシストネット事業は軌道に乗ってきたが事業名の認知度が低いため、学校や地域に対して事業の理解・協力を得るため広報・啓発に努める必要がある。 ・研修会等を実施し、学校・地域コーディネーターの養成とスキルアップを図ることができた。今後も、事業を推進するため研修等を実施するとともに、情報交換の機会を設ける必要がある。					

事後評価備考	
--------	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	582304	事業区分	02	行政的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	とちぎ未来アシストネット事業費(都賀)										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 都賀公民館係						担当者	大塚崇行				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等					事業期間	H23 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	229	千円		

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・養成するとともに、全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、本市の教育の柱となるとちぎ未来アシストネット事業を推進し、地域の教育力を高める。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、地域の教育力を高める。				
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)														

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	平成27年度			平成28年度							
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果 【事業内容】 ・地域アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、地域コーディネーター及びボランティアの発掘・育成をすることにより、地域の教育力の向上を図る。 【成果】 ・地域アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。			【事業内容】 ・地域アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、地域コーディネーター及びボランティアの発掘・育成をすることにより、地域の教育力の向上を図った。 【成果】 ・地域アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 H28実績：実施回数863回・活動人数15,671人						
	県支出金	65	68										
	地方債	0	0										
	その他特財	0	0										
	一般財源	33	36										
	事業費 a	98	104										
	人件費 b	750	750										
減価償却費 c	0	0											
総事業費 a+b+c	848	854	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	
結果指標 1	926.00	863.00	件数	学校支援ボランティア年間活動件数	H28目標値：880件		件	妥当	無	適正	有効	有	有
結果指標 2	20,279.00	15,671.00	人数	学校支援ボランティア年間活動人数	H28目標値：10,000人		人						

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)											
	・とちぎ未来アシストネット事業の認知度が低いため、学校や地域に対して、事業の理解・協力を得るため広報、啓発に努めた。 ・研修会等を実施し、学校・地域コーディネーターの養成とスキルアップを図ることができた。今後も、事業を推進するため研修会等を実施する必要がある。											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	582305	事業区分	02	行政的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	とちぎ未来アシストネット事業費(西方)										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 西方公民館係						担当者	久保 文孝		従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等			事業期間	H24 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	1,090		千円			

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・養成するとともに、全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、本市の教育の柱となるとちぎ未来アシストネット事業を推進し、地域の教育力を高める。 【主要事業】					達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、地域の教育力を高める。				
	成果 施策目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)									

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	平成27年度			平成28年度						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業の内容】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校支援ボランティア活動を推進する。 【成果】 ・地域教育協議会の開催(5月、1月) ・アシストネットだよりの発行(8月、1月) ・地域教育協議会委員の研修(8月)			【事業の内容】 ・全地区に中学校区を基本としたアシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、学校支援ボランティア活動を推進する。 【成果】 ・地域教育協議会の開催(5月、1月) ・アシストネットだよりの発行(8月、1月) ・地域教育協議会委員の研修(8月)					
	県支出金	54	51									
	地方債	0	0									
	その他特財	0										
	一般財源	27	27									
	事業費 a	81	78									
	人件費 b	1,500	1,500									
減価償却費 c	0	0	事業の内容 その成果			H28実績 実施回数：610回 ボランティア活動人数：8,629人						
総事業費 a+b+c	1,581	1,578	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	495.00	610.00	ボランティア活動回数	年間活動回数 H28目標値：500回	回		妥当	無	適正	有効	有	有
結果指標 2	2,789.00	8,629.00	ボランティア数	ボランティア活動延べ人数 H28目標値：3,000人	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)										
	・とちぎ未来アシストネット事業の認知度が低いため、学校や地域に対して、事業の理解・協力を得るため広報 ・啓発に努めたところ、地域へ事業が浸透され、ボランティアへの意識が高まった。 ・西方アシストネット地域教育協議会に研修・活動部、広報部を設置し部会ごとの活動を行った。設置2年目であるため、更なる活動の充実に努める。										

事後評価備考											
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	582306	事業区分	02	行政的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	とちぎ未来アシストネット事業費 (岩舟)										主	5201	生涯学習の充実	生涯学習環境の充実	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 公民館課 岩舟公民館係						担当者	尾林俊保				従			
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		社会教育法		事業期間	H 2 6 ~ H 3 3 年度		全体事業費 (人件費除)	693		千円		

事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、本市の教育の柱となるとちぎ未来アシストネット事業を推進し、地域の教育力を高める。 【主要事業】					達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・地域アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置することにより、地域の教育力を高める。				
	成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)									

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	平成27年度			平成28年度						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	【事業内容】 ・地域アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、地域コーディネーター及びボランティアの発掘・育成をすることにより、地域の教育力の向上を図る。 【成果】 ・地域アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。			【事業内容】 ・地域アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置し、地域コーディネーター及びボランティアの発掘・育成をすることにより、地域の教育力の向上を図る。 【成果】 ・地域アシストネット本部(学校支援地域本部)を設置した。 ・小中学校において学校支援ボランティア活動を推進した。 H28実績：実施回数959回・活動人数32,521人					
	県支出金	86	97									
	地方債	0	0									
	その他特財	0										
	一般財源	43	49									
	事業費 a	129	146									
	人件費 b	750	750									
減価償却費 c	0	0										
総事業費 a+b+c	879	896	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	919.00	959.00	ボランティア活動回数	年間活動回数 959	回		妥当	無	適正	有効	無	無
結果指標 2	28,733.00	32,521.00	ボランティア数	ボランティア活動延べ人数 32,521	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・岩舟エリア地域教育協議会を中心に地域・学校・家庭の教育現状を共有した。 ・地域コーディネーター、学校支援ボランティア、学校コーディネーターが連携し、とちぎ未来アシストネット事業を推進した。											
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100401	予算事業コード	736301	事業区分	03	管理的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	集会所管理費										主	5201	生涯学習の充実		生涯学習環境の充実		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 人権・男女 大平隣保係						担当者	大島 勝			従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市集会所条例								事業期間	H28 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	34,242 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・施設の安全を確保するための適正な管理 ・施設の機能を保全するための維持補修 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 経費の適正な執行のもと、施設の管理及び維持補修を行い、安全で快適に使用することができる。					
											成果目標	とちぎ未来アシストネット事業のボランティア年間活動回数 ...平成29年度で4,800回(現状値4,344回) 社会教育施設利用者数...平成29年度で787,000人(現状値715,624人)					

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込											
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	事業の内容 その成果									
	県支出金		0										
	地方債		0										
	その他特財		67										
	一般財源		5,180										
	事業費 a		5,247										
	人件費 b		8,250										
減価償却費 c		0											
総事業費 a+b+c		13,497											
結果指標 1		91.93	予算執行率	決算額 ÷ 予算額 H28目標値 100%	単位	%							
結果指標 2		21,032.00	利用者数	利用者数 H28目標値 23,100人	単位	人							
							事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
							妥当	無	適正	有効	無	有	

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 施設が適正に維持管理され、市民が安全で快適に使用することができた。											
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--